

# ハサド

第5号

潮陵ラグビー部OB会会報

会長：藤中博文 ☎0134-62-2351

事務局：☎047-0034 小樽市緑2-11-7

久保寿史方

事務局長：大川剛司 ☎090-8905-0540

会報編集部：間 博信 ☎01237-2-3536

## 桜陽チーム招いて

## 親睦対抗戦



対抗戦に参加して

神原 浩

昨年のOB戦で私は会計を担当させて頂いておりました。

桜陽との初の合同対抗戦ということで、赤字が出ないようにと心配していましたが、無事に終了し、私の目からはOBの方々も十分楽しんで頂けたように感じられました。会計の方も簡単に収支を説明させて頂きますと、現地で皆様から集めさせて頂いた飲食費により、現役への焼肉と飲み物の費用をまかなった上で、少額ではありますが、両校のOB会に三千円ずつの分配金を配ることが出来ました。

潮陵ラグビー部OB会主催の平成十三年度OB一現役対抗戦は八月十二日(日)正午から、からまつ公園グラウンドで行われた。今回は桜陽高チームを招待して、正午キックオフの試合はまず桜陽OB一現役対抗戦(二十分)で始まった。続いて潮陵OB一現役対抗戦が行われ、最後に桜陽チームー潮陵チーム対抗戦前半シニア戦、後半若手OB戦いずれも二十分で締めくくった。潮陵と桜陽は日ごろライバル同士ながら、この

日ばかりは「きのうの敵はきょうの友」と和気あいあい。午後一時ごろからは焼肉パーティーが始まり、ビールを飲みながら観戦する人もいて、親睦気分は満点。潮陵側は約五十人が参加した。

私個人としては、会計の方で忙しく、あまり楽しんでいる暇はなかったのですが、十分ほど試合に出させて頂きました。1プレーではありましたが、ちょうど家内が横で観戦している所で、恵まれた体重を活かし現役のディフェンスラインを突破できたことに十分満足。息が切れないうちに、早々に若手のOBの方と交代させて頂き、家内の前でいいところを見せられたので、意気揚々と引き揚げる事が出来ました。満ち足りた思いで一杯です。

## 赤字も出ずに安心 予想を上回る参加数



キックオフを前に整列した選手を前に藤中会長があいさつ

## 両校に少額ながら分配金



「それっ、タックルだ、タックルだっ！」

# 第54回北海道高校ラグビー 南・北選手権大会



今年の覇者  
札幌山の手と対戦

ひときわ目につく大会一派手な潮陵の横断旗



まさにスクラムを組もうとする両チーム

## 健闘空しく撃沈



## 札幌山の手51-0潮陵

寒風もなんのゴール前の両チームの激突

美しい。周りを見渡せば父兄、他に見知らぬOBが、総勢五、六十人ほどいる。代表出場とは言え、応援のいる試合など、ましてや二桁の。信じてやらね。幸せな現役たち。さっそく試合状況、

## 渡辺・遠藤・橋本君ら OBや父兄ら5、60人が応援

も見せていたが、やはり選抜メンバーが二人いる。FW陣は体力力の差を感じるものがある。モールからハイパント、スクラムからハイパントの攻撃に、試合十分ほどで1トライを許し、前半4トライ、1ゴールで24対0で終了。

(間博信)

## 札幌山の手と対戦

第54回北海道高校ラグビー南・北選手権大会は平成十三年十月三日、上富良野社会教育総合センターグラウンドで開かれ午前十時半から4試合が行なわれた。わが潮陵ラグビー部は午後一時のキックオフ。前年の覇者・札幌山の手高に果敢に挑戦するも健闘空し、51-0で敗れてしまった。

日ごろ、心やさしきOB連中といえども、札幌から二時間以上、ましてや水曜日の昼中である。だれも応援には行けないだろう。いつもは記事取りを人任せにしている小生も、このときとばかり十月三日、仕事の段取りを整えて、カメラと筆記具を持ち、午前九時、勇んで愛車へと乗り込み、一目散に現地へ向かう。久しぶりの山道。紅葉が

## 成田監督から 日程表と地図

あたりを美しく染め始めた三笠、桂沢湖を通過して、観光気分ではない。上富良野と言えは、「北の国から」のロケ地露宿を通る？ 通らないけど、すぐ近く。気がついて、そこにいた。中富良野には食堂がない。上富良野には食堂が少ない。富良野で見かけた、あのおいしい、もう時計は十二時二十分を回っている。やっと思つて、急いで注文した。が、遅

い。シワシワのばあさんがじつにトロイ。キックオフに遅れそう。しかし、しかし小生のせいではない。そうだ、あの紅葉が悪い。途中のロケ地がワルイ。そうして何より悪いのは、あのバアさんだ。あたりの景色を眺めながら、桂沢湖を通過して、観光気分ではない。上富良野と言えは、「北の国から」のロケ地露宿を通る？ 通らないけど、すぐ近く。気がついて、そこにいた。中富良野には食堂がない。上富良野には食堂が少ない。富良野で見かけた、あのおいしい、もう時計は十二時二十分を回っている。やっと思つて、急いで注文した。が、遅

後半、疲れのせい、スクラムに、押され気味になり、勢いづく相手の押しに攻めを欠き、パスの通りも悪くなり、5ゴール、1トライ、27点を取られ、惜敗した。試合には負けたが、モールからランの連続攻撃や、たまに見られた低く強いタックルに光るものを感じた。覇者・山の手を少なからず苦しめた現役たちに、明日の微かな期待感と希望の光を見た。これからの、なお一層の精進を期待したい。

# 全道大会南地区代表決定 盛大に壮行会



長さ13メートルの大横断旗の披露 ▲ 全道大会に出場する現役選手たちの紹介

恒例の選手紹介は、成田監督得意のユーモアの効いた話術と選手たちの得意即妙なやり取りが絶妙で、みんな時を忘れる盛り上がりようだった。地区大会出場はこのころ常連とはなつたが、今年は昨年の覇者、OBの佐藤幹夫君が監督を務める札幌山の手と初戦で対決する。勝負をあきらめず、果敢な炎のタックルを繰り出して相手を苦しめ、あわよくば一勝を、と願って止まない。

全道高校ラグビー後志地区代表決定戦で潮陵高校が勝ち金道大会に進出したため、土気高揚を願う壮行会が平成十三年九月二十三日(日)、小樽運河沿いの中華料理店「好」で開かれた。父兄およびOB、選手を含め七十人近くが参加した。会は関川先輩の挨拶で始まり中盤、現役たちが長年希望していた横断旗と、些少なげな遠征費の一部にと寄付金が贈られた。横断旗は潮陵カラーの朱色の地に、「炎のタックル」燃える潮陵ラグーマン」と黒の太文字で鮮やかに書かれた、幅九〇センチ、長さ十三メートルの迫力あるもの。

## 横断旗を贈呈



会長を囲んで会食中のOB連中



先輩から現役代表に横断旗の授与

## OBと現役が和やかに会食



壮行会で会食中の現役選手たち

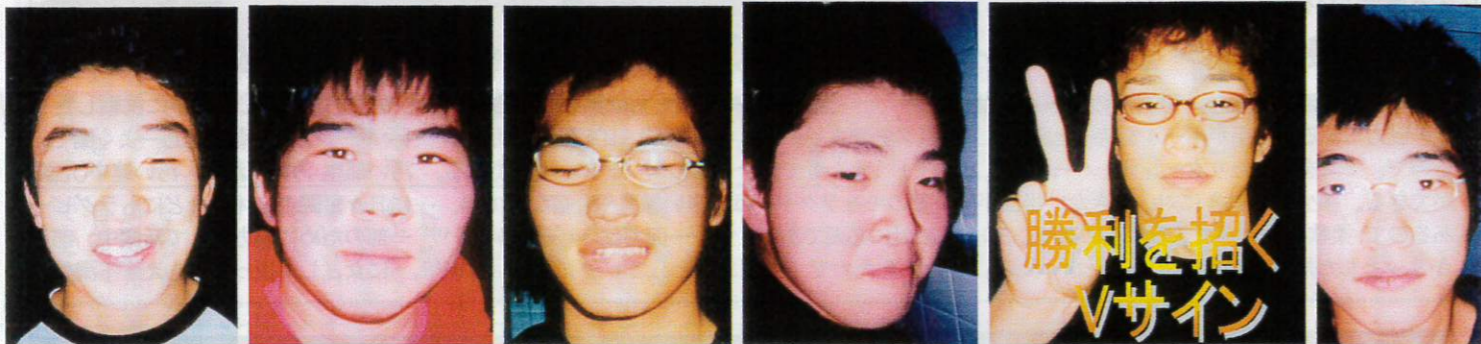


「期待してるぞ、頑張れ!」と励ますOBたち

# ラグビーへの情熱はだれにも負けないぞ!



2年・橘 智己 2年・大田貴弘 2年・盛田悟史 副将・2年・山村尚裕 主将・2年・葉原 彬 成田正人監督



1年・緒方 駿 1年・渡辺幸司 1年・百合野大希 2年・柴田章吾 2年・葉原 祥 2年・大野 渉



1年・吉田 傑 1年・石垣卓也 1年・田口謙一 1年・山下智博 1年・佐藤俊一朗 1年・渡辺慎也

今年こそ  
全道制覇

## FWの核として期待

【ロック】田口謙一—どこか抜けているところがあり、よく叱られる。しかし体は一級品。サイズはもちろん、腕が長く柔軟性があり、現在のラグビースタイルにはピッタリの体格である。その体を活かせるようになれば、FWの核となれるのは間違いなく、大いに期待している。

【フランカー】佐藤俊一朗—入学時から努力を重ね、体つきも変わり、スピードとパワーがついてきた。それをプレーに活かせるようになると、楽しみである。1年生の中では頭脳派であり、成績もいい。(いい方だった、が正解か...)学習面でもみんなを引っ張ってほしい。

【FW】打越亮介—新入部員、空手部からラグビー部へ。休まず一生懸命取り組んでいる。サイズもあるので、ラグビーを覚えたら、大きな戦力となるはず。これらの取り組みに期待。

### ラインアウトの核として期待

【ロック・フランカー】大田貴弘—右肩脱臼の手術をして、春には復帰の予定。チームの身長でラインアウトの核となる。ハードで荒々しいプレーができるように、リハビリを含め体づくり、肉改造計画を実施してほしい。



マネージャー・新妻志乃

## 真剣に練習 減量に成功

【プロップ・ロック】柴田章吾—2年次からラグビーを始めた。ほとんど運動をしたことがなかったため、立派な体なのに、その中身はラード状態だったのでは? しかし真剣に辛い練習に耐え、10数キロの減量に成功。ようやく普通らしくなってきたか。肩の手術を受け、懸命にリハビリ中。

【フランカー・エイト・ウィング】橘 智己—チームの俊足。突破力もあり、トライゲッターとなるはず。現在はFWかBKで使うか迷っているが、彼の攻撃力はどちらにしても魅力である。人を使うプレーを覚えることを期待する。

休日も裏方  
として活躍  
洗濯などに奮闘



1年・前田 拓 1年・打越亮介

【スタンドオフ】葉原 彬—今シーズン成長した一人。来年の潮陵ラグビーのキーマンとなるはずである。FW・BKを動かすカギを握っている。ディフェンス・アタックと良くなってきているので流れを読んでキックを上手く使えるようになるともっとスタンドらしくなるはず。

## もっとも伸びた選手

【フルバック】盛田悟史—今年もっとも伸びた選手。フィットネス、スピード、ディフェンス、ライン参加など、さまざまな場面で成長した。特に最後の砦としていくつものピンチを救ったタックルは、絶大な信頼を得ている。最後尾からもっと指示できるようになると、さらに成長するはず。



上富良野のグラウンドで行なわれた南地区大会

ボールを激しく奪い合う潮陵と札幌山の手の選手たち

# 炎のタックル! 燃えろ 潮陵ラグーメン 現役選手紹介

学年	選手名	身長	体重	ポジション	得意なプレー	目標とする選手	目 標
1	2年 葉原 彬	175	69	フランカー	サポートプレー	成田正人	全道制覇
2	2年 山村 尚裕	167	60	ハーフ	タックル	堀越選手	全国大会出場、パスのスピードアップ! パワーアップ!
3	2年 盛田 悟史	172	58	FB	タックル	特になし	花園出場
4	2年 大田 貴弘	187	76	左ロック	ラインアウトのキャッチ、モール	柳瀬大輔	ラックの掃除機、誰よりも低くタックルする
5	2年 橘 智己	173	66	フランカー、ウィング	流れるような身のこなし	成田正人	道 選
6	2年 大野 渉	172	81	1・2・4番	力 技	成田先生	ケガしない強い体、セットプレーに強くなる 100%良い球をつなげるFWになる
7	2年 葉原 祥	175	69	CTB	ハンドオフ 悪球キャッチ	山下だいご	75kgまでウェイトアップ、どこでもできるように、全道制覇
8	2年 柴田 章吾	174	78	プロップ	ヒット	いない	強くなる
9	1年 百合野大希	177	76	センター	ヒット	山下だいご	簡単に倒れない強い体をつくりたい
10	1年 渡辺 幸司	165	75	フッカー	フッキング	成田先生	スローイングを早くする、スクラムを上手にリードする
11	1年 緒方 駿	177	75	ロック	リフト	成田先生	スピードをつける
12	1年 渡辺 慎也	167	58	センター	タックル	前キャプテン	とりあえずパワーをつける
13	1年 佐藤俊一朗	168	64	フランカー	タックル	鍵市さん	速くサポートしに行く
14	1年 山下 智博	162	57	ハーフ、ウィング	さえないスワープ	山村先輩	山村越え
15	1年 田口 謙一	179	93	右ロック	コンタクト係	小刀欄さん	フィットネスアップ
16	1年 石垣 卓裕	160	58	フッカー	(オフェンスの)ヒット	三輪さん	タックルにムラをなくし、スタメンをとる
17	1年 吉田 傑	169	65	ウィング	キック、パス	伊藤さん	道 選
18	1年 打越 亮介	172	72	FW	タックル	成田先生	判断力をつけてすばやく動くこと
19	1年 前田 拓	170	90	プロップ	スクラム	三輪さん	スクラムを強くする

## 身をもって引っ張る

【主将】エイト・フランカー 葉原 彬—今期は選抜大会中の練習試合で鎖骨を骨折、出場できなかったため、来期にかける思いは人一倍強い。堅実なサポートは、私が目指すラグビーには不可欠の存在である。口数は少ないが、身を挺して引っ張るタイプであり、周りからの信頼も篤い。  
【副将】スクラムハーフ 山村尚裕—小さい体ではあるが、大きな相手を一撃で倒すタックルは全道でも勇名を馳せている。早い展開をするためには、彼の速い球出しが必要である。  
【プロップ・ロック】大野 渉—壮行会での涙は多くの人に感動を与えた。(ちょっとやり過ぎか)

高体連には何とか間に合い、レギュラーとして活躍した。まだまだ荒削りなところもあるが、彼の真剣さは本物である。

## 1年からレギュラー

【プロップ・フッカー・フランカー】渡辺幸司—1年生とは思えぬ風貌で、フッカーとして1年からレギュラーとして活躍した。ハンドリングがよく、パワーもあり、もっと自分に自信が持てるとさらにレベルアップできるはずだ。(もっとはつきり言いなさい!!)  
【フッカー】石垣卓裕—小さい体でファイトマン。ラックやタックルで体を張ってプレーできる。身振り、手振り、手振りで相手に話し、自分のペースに引き

込む特技を持つ。早くもわいた耳が悩みとか。  
【プロップ】前田 拓—サイズの割に瞬発力があり、スピードもあるので、ラグビーをもっと知ると面白い選手になるはず。ケガが多く1年まともに練習できなかったのも、ケガをしない体づくりが先決。「北海道No.1のプロップになれる」と辻村談。

## そつのない仕事

【プロップ・ロック】緒方 駿—ボーッとかなボーとかがピッタリ。しかしプレー中は一気に変貌し、柔らかい動きで要所々々そつなく仕事をこなし、公式戦に出場、チームに貢献した。今年のテーマはハードなプレーで...



猪田氏とチャージングなご夫人?

私は「気合い」といふ言葉が好きでありませぬ。なぜなら、学生時代に随分と痛い目に遭ったからです。その中の一つの出来事について書きたいと思えます。

「三つ子の魂百まで」と言いますが、人間形成あるいは人格形成を意図している言葉だと私は解釈しています。そして、人は様々な経験を積み重ねることで、成長していくのだと思えますが、私の場合、自分が形づくられていく過程で大きく影響したのが、東京での大学の寮生活でした。

# 誕生会「気合い」の功罪

## 人間形成のはざままで

80期 猪田晴一

そこでは今までに味わったことのない、そしてこれからは決して味わうことがないであろう多くの貴重な体験をさせて頂きました。

私は四年間、ラグビー部に在籍していましたが、私が住んでいた寮は六階建てで、体育系の部活に所属している学生が生活し、階ごと

に各クラブが分かれていました。ラグビー部は六階で、部屋割りは上級生の先輩が決めるのですが各部屋とも一年生から四年生が一人ずつの四人編になっており、いわゆる「縦社会」の最小単位のようなものでした。

私の誕生日の日付の所に花丸をつけていました。私は「何で？」と言いつつも、大して気にもしていなかったのです。

いよいよ誕生日の日、その答えがわかりました。夕食後にその先輩が私のところに来て、「いいか、今日はお前の誕生日をさるから、洗濯やボール磨きは早めに切り上げて来い」と唐突に言いました。

寮生は午後九時になるまで各クラブごとに点呼があり、廊下に全員集合するのですが、その日の点呼の時に同室の先輩が、「皆さん、今日は猪田君の誕生日です」と言うので

お集りの皆さんがこちらを向いたので、私は照れくさくさして軽く頭を下げて応えました。

私は「やれやれと思いつつ、先輩が待つていて、もう先輩方集まっているからな、ちゃんと挨拶して入れ、それから酒は気合い入れて飲めよ」と今度はかなり「気合い」の入った顔で言っていました。

その時はじめて「やっべー!」と思いました。その後はもう何杯飲んだか何回吐いたか覚えていません。ただ頭を上げるとなみなみと注がれた酒の中の時折「気合いいしや」という言葉が響いてくるだけでした。

しかも四年生から順に神様一人、奴隷一人、豚というように、それぞれの分掌まで決まっています。ですから、新入生は入寮した時から、人間から豚になり下がるのです。当然、豚は勝手に話すこともできません。居場所も部屋に備え付けの自分のベッドの上だけです。そして、よく「先輩

神様一人、奴隷一人、豚

の声は天の声「なんて言われ、ただただその部屋専属の「小間使い」となるのです。

皆さんは、二十歳を過ぎてからの話ということですが、目を瞑っていただきたいのですが、入寮して間もないある日、先輩に「お前、誕生日日いつだ」と聞かれたことがありました。そして私が答える

「そっか」とニヤニヤ笑いながら、カレンダー

「お陰なのでしょか。」



栗田 俊治

私の入学は昭和五十二年。部員不足のラグビー部には一期上に兄の功一がいて、私の入部は入学前から決まっていたようでした。

その年は武田先生率いる岩内高校が金道大会決勝で引き分け、抽選負け、という岩内高全選抜、という間の私のラ

変わりはありません。どうせやるなら、強くなる練習をやった方がいいに決まっています。

現役諸君、成田先生という素晴らしい指導者に出会えたことに感謝してください。

我々冬の時代のOB達は、武田先生に鍛えられた諸先輩方や、成田先生のもので強くな

いい指導者に恵まれ感謝を

いい指導者に恵まれ感謝を

いい指導者に恵まれ感謝を



紅顔の美少年たち



今なお若々しく思い出のアルバム

# 独自のステップワークは絶品

〔ウィング〕吉田 傑—独自のステップワークで相手をずらして抜いてゆく力は絶品である。FW・BKを動かすのは、彼にすべてがかかっている。ディフェンス・アタックと良くなってきているので、流れを読んでキックを上手く使えるようになると、もっとスタンドらしくなるはず。(勉強もしつかりやれ!!)

〔センター〕百合野大希—大型センターに期待は大きい。スピードもあるので、一次攻撃の起点となるはずである。下半身がまだ安定していないため、ステップワーク・ヒット・ディフェンスに不安もある。これらが改善されると、北海道を代表する選手になることは間違いない。

# 必殺のタックル

〔センター〕渡辺慎也—必殺のタックルは、彼の魅力である。相手がボールを持った瞬間に入るの、ミスを誘ったりターンオーバーすることができる。多少縦の動きに対応できない場面があるので、柔軟な動きができるように期待したい。キリッとした眉毛は1年生とは思えない風貌。



潮陵ラグーマンたちは果敢にいろんな技と攻撃を繰り出し山の手に挑戦した

〔スクラムハーフ・ウィング〕山下智博—明るく〔マネージャー〕新妻志乃—よく働く。ひょうきん者で、チームのムードメーカーである。汚い部屋、汚い洗濯物、汚い連中(冗談)彼のキャラクターは、辛い練習や合宿などでは、に日々奮闘中。休日などにもラグビー絶対に必要な。プレー面ではスピードが一部のために裏方として活躍中。部員きたので、ウィングとしてビッグゲインを期待。に女として扱ってもらえず不満顔。



# 勝利と栄光につながる精進の道

住吉神社の境内への心臓破りの階段を駆け上がる選手たち— その苦難を乗り越える精進の道が明日の勝利と栄光につながる

# ラグビーの悔しい思い出 小樽桜陽戦での敗戦

## 1人を余らせ 7人スクラムの奇策

61期生 谷内 秀夫

こんにちは。私は61期生で、卒業後まもなく35年になる谷内秀夫と言います。私は18歳から小樽を離れ、今、豊川稲荷がある愛知県豊橋市に住んでいます。

私は1、2年は何処にもクラブに入らず、3年になってから、キャプテンの高橋 昭君に誘われてラグビー部に入りました。その頃のチームのラグビーの特徴は、No8がラインに加わり、スタンドオフの高橋から、俊足の2年生ウィングに、また積極的にFBのライン参加等をするなど、走り勝ちチームでした。桜陽との練習試合は2回行い、いずれも走り勝ち、圧勝しました。

夏に合宿を行い、さらにレベルアップして、本番の小樽・室蘭地区予選に臨み、なんとか勝ち進み、再び小樽桜陽戦です。必ず勝利できると信じて、桜陽戦に望みました。ところが、桜陽は潮陵対策として7人スクラムを実施し、余らせた1人をライン防御という作戦に出て、対応してきました。

その結果、桜陽側の対策はずばりの中し、潮陵は相手の防御網を打ち破れずに惨敗し、非常に悔しい思い出を残して、短いわが高校ラグビー生活にピリオドを打ちました。ちなみに私のポジションはTBでした。



こんにちは

筆者の近影→

いろんな人と知り  
合えて良かった

橋本 尚朋



(71期)

私は三年前の四十歳の時に、箕原先輩に誘われたのを機に、ダイエツトも兼ねて不惑チーム「小樽オイスクラブ」に入会し、十七年ぶりにまたラグビーを始めております。入会当日は、四十歳以上のチームなので、大しことはないとタカをくくって、張り切って練習に参加しました。ところが開始早々、右足肉離れですぐリタイヤしてしまい十七年間、何もスポーツをしていなかったブランドをつくづく痛感してしまいました。

私には三年前の四十歳の時に、箕原先輩に誘われたのを機に、ダイエツトも兼ねて不惑チーム「小樽オイスクラブ」に入会し、十七年ぶりにまたラグビーを始めております。入会当日は、四十歳以上のチームなので、大しことはないとタカをくくって、張り切って練習に参加しました。ところが開始早々、右足肉離れですぐリタイヤしてしまい十七年間、何もスポーツをしていなかったブランドをつくづく痛感してしまいました。

# OB会のさらなる発展と オープンで健全な運営を目指し 皆様のご支援、ご協力を!

心からお願い致します。

☆OB会が新たな出発をし、OB各位様より会費を徴収させて頂き、会報を発刊してからの、早いもので5号目(号外を入れると6号目)を迎えることになり。準備期間を考えると二〇〇二年は四年目を迎えることが出来ました。これもひとえにOB各位様のお陰と、執行部全員が心から感謝してるところでございます。

☆会報は年一回、二百七十人に配布していますがその三割ほどが住所不定で返送されてくるのが実情です。卒業OBはまだまだ多いと思われませんが、まだはつきりと住所等が把握されておりません。二〇〇二年夏ごろまでを目途に新しい名簿を作成し発送しようとして目下努力しているところです。不明だったOBの消息や情報をつんだら、すかさずご連絡下さるようお願い致します。

会費の納入  
よろしくお願  
いいたします

## 会報作成に10万6千円

### 25万5千円を繰り越す

平成13年度 小樽潮陵ラグビー部OB会収支決算書

(平成12年11月1日～平成13年10月31日)

#### ▽収入

区分	予算額	収入額	差引	備考
繰越金	250,731	250,731	0	
会費	400,000	110,000	△290,000	55人分
総会等会費	300,000	249,000	△51,000	
フェスティバル会費	80,000	2,553	△77,447	
計	1,030,731	612,284	△418,447	

#### ▽支出

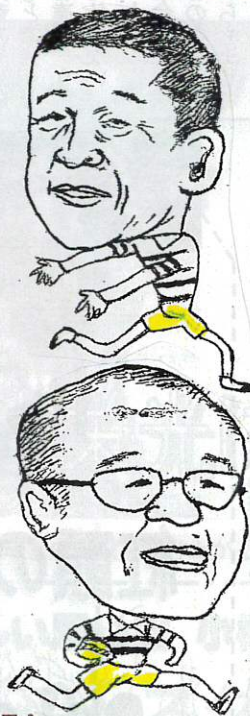
区分	予算額	支出額	差引	備考
会報作成費	200,000	106,528	93,472	2回発行
総会等開催経費	260,000	191,176	68,824	
1年生用バッグ	182,133		182,133	
冬季練習支援費	30,000		30,000	
フェスティバル開催費	50,000		50,000	
卒業生歓迎会費	70,000		70,000	
郵送料	90,000	48,480	41,520	
事務費	90,000	7,014	82,986	
振込手数料		3,750	△3,750	
予備費	58,598		58,598	
次年度繰越金		255,336	△255,336	
計	1,030,731	612,284		

#### ◎特別会計 ラグビー部活動振興費

#### ▽収入

区分	予算額	収入額	差引	備考
基金	0	1,230,366	1,230,366	
計	0	1,230,366	1,230,366	

息の合ったパスワーク



箕原(上)・白方の名コンビ

一回目に各位様からご送金頂きました人数は百六十七名でした。実に六割もの皆様のご支援を賜りました。しかし、その後は年を追うごとに急激に減少しております。

☆潮陵も七人制では全国大会出場を果たし、全道大会南地区代表は常連のチームにまで成長してきており、花園も決して夢ではない時代となってきました。現役の後輩

## 副会長に箕原、白方両氏

### 大川氏が事務局長

平成十三年十一月二日に開かれた総会で箕原、白方の両氏が副会長に、大川氏が事務局長に、橋本氏が副事務局長に、栗田氏が会計にそれぞれ選出され、新執行部を担ってまいります。

(間記)